

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公表番号】特表2002-539888(P2002-539888A)

【公表日】平成14年11月26日(2002.11.26)

【出願番号】特願2000-607569(P2000-607569)

【国際特許分類】

A 61 F 2/82 (2006.01)

A 61 M 25/00 (2006.01)

【F I】

A 61 M 29/00

A 61 M 25/00 410 H

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月31日(2007.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 拡張可能な医療器具が取り付けられた医療用バルーンであって、前記医療用バルーンの表面は複数の突出部を有し、該突出部(120)の少なくとも一部は、前記拡張可能な医療器具(160)を把持するように、前記拡張可能な医療器具の下方に少なくとも部分的に設けられており、拡張可能な医療器具の下方に設けられている突出部(120)の少なくとも一部が、拡張可能な医療器具を把持するように、拡張可能な医療器具の側面から該側面に関して途中まで突出していることを特徴とする医療用バルーン。

【請求項2】 突出部がバルーンから外側に突出している請求項1に記載の医療用バルーン。

【請求項3】 拡張可能な医療器具が、医療用バルーンに圧着されたステントである請求項1に記載の医療用バルーン。

【請求項4】 突出部により把持されたステントの部分が、少なくとも部分的に、前記突出部の形状に一致させられている請求項3に記載の医療用バルーン。

【請求項5】 突出部の少なくとも一部が外側に突出している請求項3に記載の医療用バルーン。

【請求項6】 突出部の少なくとも一部が内側に突出している請求項3に記載の医療用バルーン。

【請求項7】 内側に突出した突出部が、バルーンを膨張させた後、外側に突出する請求項6に記載の医療用バルーン。

【請求項8】 バルーン上の突出部が、ほぼ円筒状の突出部、ほぼ切頭円錐状の突出部、ほぼ円錐状の突出部、ほぼピラミッド状の突出部、およびほぼ多角形の突出部のうちから選択される請求項1に記載の医療用バルーン。

【請求項9】 基端円錐部分と、先端円錐部分と、前記基端円錐部分と前記先端円錐部分との間に配置された本体部分とを備え、突出部がバルーンの前記本体部分の周囲に規則的に間隔を置いて配置されている請求項1に記載の医療用バルーン。

【請求項10】 拡張可能な医療器具がステントであり、突出部が、ステントに関して該ステントの厚さの約30%から約50%まで突出している請求項1に記載の医療用バルーン。

【請求項11】 拡張可能な医療器具は、複数の相互接続した支柱から形成され、か

つその支柱の間に開口部を有するステントであり、突出部は、バルーンの周囲においてステントの前記開口部に対して不規則に分布している請求項1に記載の医療用バルーン。

【請求項12】 拡張可能な医療器具は、複数の相互接続した支柱から形成され、その支柱の間に開口部を有するステントがあり、突出部の一部はステントと係合し、突出部の一部はステントと係合していない請求項1に記載の医療用バルーン。

【請求項13】 請求項1に記載のバルーンを有する管と、前記バルーンと流体連通している膨張ルーメンとを備える医療器具送達装置。